

大勝利に向け、全国各地を疾走！

“若者の声”を国政に

～参院選 2016～

参院選に向けて、年頭からスタートした公明党青年委員会の政策アンケート『VOICE ACTION (ボイス・アクション)』。私も全国各地で協力を呼びかけました。

青年党員の皆さまの奮闘のおかげで、回答が1000万人を突破。このアンケート結果をもとに、「非正規雇用の待遇改善」、「最低賃金1000円(時給)の実現」、「幼児教育の無償化」など、多くの声が寄せられた

項目については、公明党『参院選重点政策』に反映することができました。

こうした活動の結果、今年度の最低賃金改定は、過去最大の上げ幅となる25円増となり、全国平均で823円に。政府が進める働き方改革においても、同一労働同一賃金が取り組みの柱にすえられるなど、早くも実現に向けた取り組みが動き出しています。



「18歳選挙権」がスタート。高校、大学での討論会に参加

4月、都内の大学で行われた『18歳選挙権』に関するシンポジウムに与野党の代表者と参加。

私からは、夏の参院選から導入となった18歳選挙権について「公明党は1970年代から必要性を訴えてきた」ことを紹介。『VOICE ACTION』などを通じて、若者のニーズを探り、ともに政策をつくり、カタチにしていく取り組みを熱く語りました。

また、参院選の直前には、主権者教育の一環として、千葉県内の高校で行われた政策発表会に出席。多くの高校3年生と直接語り合うことができました。

「公約にはよいことばかり書いてあるが、実現できなさそうなものはどれか？」といった既成概念にとられない質問に、わかりやすい言葉で答えていくことが若者の政治参加への第一歩と思い、精一杯お話をさせて頂きました。

とくに、公明党が奨学金の充実に力を入れている理由について、「子どもの将来は生まれ育った環境によって左右されてはならない」と強調。給付型奨学金の実現に向けて、全力を尽くすことをお約束しました。

なお、給付型奨学金については、経済的に厳しい状況にある私立に通



う下宿生らや、児童養護施設出身者など社会的養護を必要とする学生については、2017年度から一部先行して実施し、18年度から本格的に実施することが決まりました。

「若い世代が声を上げたら必ず政治は動く。政治を諦めないでほしい」と、今後も呼び掛けていきます。

長沢ひろあき当選！参議院公明党 25名の陣容に！



いよいよ迎えた夏の参院選。関東・甲信越を中心に縦横無尽に走り、語り、語りに語り抜きました。

多くの皆さまの献身的なご支援のおかげで、『長沢ひろあき』も2期目の当選を果たし、公明党は過去最多に並ぶ、14議席を獲得することができました。非改選組を合わせると参院で25名の陣容に。掲げたスローガン『希望が、ゆきわたる国へ。』

政策実現の誓いも新たに、しっかりとご期待に応えて参ります。

「平和外交」を積極的に展開

～公明党中南米訪問団～



日本は世界最高水準の地雷除去技術を誇る

8月30日から10日間、山口那津男代表、遠山清彦衆院議員とともに、パナマ、コロンビア、キューバの3カ国を訪問しました。公明党が中南米に訪問団を派遣したのは初めての事です。

ここでは、紙面の制約上、2カ国目の訪問先となったコロンビアでの活動について報告をさせていただきます。

コロンビアは今、歴史的な転換点を迎えようとしています。私たち訪問団が到着する直前の8月24日、半世紀以上続いたコロンビア政府と革命軍(FARC)との内戦を終結させる和平案が合意に至り、平和構築に向けた大きな一歩を踏み出したのです。

ファン・マヌエル・サントス大統領は、満面の笑みで私たちを出迎えてくれた後、次のように続けました。「我々にはまだ多くの挑戦が続く。平和を定着させることは、戦争を続けることより、はるかに困難を伴う。その挑戦の一つが地雷の除去であり、この分野で多くの技術と経験をもつ

日本の力を貸してほしい。」

山口代表は、「地雷除去だけでなく、地雷による被害者の救済、雇用創出など総合的な支援をめざしたい」と応じました。

日本の約3倍という広大な国土をもち、石油や金、エメラルドなど資源も豊富なコロンビアですが、半世紀以上にわたる内戦の結果、推計で国土のおよそ7割が地雷原とされています。このままでは、農地や街を作ることも、豊富な地下資源を活用して、復興にいかすこともできません。

そこで帰国後の10月、予算委員会で、地雷除去を軸としたコロンビ



サントス大統領は、昨年のノーベル平和賞を受賞

アでの平和構築支援を安倍総理に提言。10億円規模の無償資金協力を実施することが決定しました。

今回、初めての党中南米訪問団の一員として、3カ国の政府首脳や次世代の指導者と会談し、大変貴重な体験をすることができました。地域の平和と安定、日本との関係強化に重要な布石を打つことができたと確信しています。

公明党の若手議員として、さらに政党外交のウイングを大きく広げ、全地球的な規模で平和構築に一層貢献してまいります。

